

海外安全対策情報
【定期報告：7月～9月】

在ケープタウン領事事務所

1 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 邦人観光客を狙う犯罪が増加した。
- (2) 在ケープタウン領事事務所管轄地域の2015年7月～9月における邦人に対する被害の報告件数は6件であった。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

イ 7月26日、キャンプスベイにあるホテル（ゲストハウス）でアメリカ人女性旅行者と見られる遺体が発見された。死因は絞殺死と見られている。

ウ 7月26日、男性警察官がN2道路を車で走行していたところ、路上に故意に設置されたコンクリートブロックにぶつかり、車のタイヤがパンクした。様子を見ようとして外に出たところ複数名の何者かに囲まれ背中を刺され死亡した。

エ 9月20日、午後3時頃ケープタウン市オタリー（Ottery）にある中華系スーパーマーケットの経営者が殺害された。3人組と見られる犯人らは客の車を盗み、逃走した。

(2) 強盗

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

イ 邦人被害者情報なし。

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

ア 7月6日、午前7時30分頃、ケープタウン市の大型ショッピングモール「カナルウオーク」で工事関係者に扮装した4人組の男がモール内のスーパーに入り込み、現金や商品を奪った。

- イ 7月12日、午後7時30分頃、3名の大学生がライオンズヘッドから下山している最中に何者かにナイフを突きつけられ、所持していたカメラ、現金等の貴重品を奪われた。同日に別の登山道（Schoorsteenkop）でも2名の登山客が同様の事件に遭っている。
- ウ 7月19日、午後4時頃、外国人登山客がライオンズヘッドを登っているところを2人組の男にナイフで脅され所持していたパスポートや貴重品を奪われた。この事件は上記イの事件と同じ登山道で起きており、テーブルマウンテン国立公園はレンジャーと捜索犬のパトロールを強化するとしている。
- エ 7月26日、21歳の男子学生がセントジェームズ（St. James）とコークベイ（Kalk Bay）の間にある歩行者用のトンネルで背後から何者かに刺された。犯人は男性の携帯電話や車の鍵等を奪っていった。
- オ 8月11日、午後9時頃にシグナルヒルをレンタカーで訪れた3人の邦人観光客が不審車両に追尾された。危険を察知し、その場を離れたことで観光客らに被害はなかった。
- カ 8月23日、午後、邦人男性がホテルのジムにケータイ電話を忘れたことに気づき取りに戻ったところ、ケータイ電話が盗まれていた。
- キ 9月10日、午前11時45分から午後12時頃、邦人観光客3人が喜望峰の駐車場に車を停めていたところ、車内に置いていた旅券や貴重品類が盗まれていた。
- ク 9月14日、午後7時頃、邦人男性がシーポイントのビーチロード付近に車を停めていたところ、翌朝車の窓ガラスが割られていたのを発見した。なお車中には貴重品は置かれていなかった。
- ケ 9月14日、午前6時半頃、喜望城付近のゲストハウスに4人組の武装した男らが侵入し、ゲストハウス及び併設のカフェの金品を強奪していった。
- コ 9月15日、午前9時頃、邦人がホテルのロビーで数分の間ソファに置いた荷物から目を離したところ、何者かに荷物が盗まれていた。バッグには旅券などの貴重品が含まれていた。
- サ 9月15日、午前11時頃、ケープタウン市クレアモントにある大型ショッピングモール「カベンディッシュスクエア」で武装した男4人組による宝石店を狙った武装強盗が起きた。昨年からは大型ショッピングモールを対象とした武装強盗がケープタウンでは頻発している。

シ 9月15日、ケープタウン市ストランドを走行中のインターケープバスが、何者かに火炎瓶を投げつけられ、2名の死者を含む30名以上が火傷など重軽傷を負った。同社は南ア国内や隣接国主要都市を結ぶ長距離バスを運行している。

ス 9月18日、午後4時頃、邦人観光客が地図を見てATMを探していたところ、場所を知っているという黒人に案内されついて行った。現金を下ろそうとしたが、カードが機械から戻ってこず不信に思ったところ、黒人は「翌朝この銀行の支店に聞け」と言い残し去って行った。その後、口座から現金が全て引き出されていた。邦人を被害者とした類似事件が同年4月にも発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 対日感情

概ね良好である。

6 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「領事事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。